

平成 28 年度

第 3 回 大垣市環境審議会会議録

(平成 29 年 2 月 27 日)

平成 28 年度 第 3 回 大垣市環境審議会会議録

平成 28 年度第 3 回大垣市環境審議会を、平成 29 年 2 月 27 日（月）大垣市役所本庁舎 2 階第一会議室において開催した。

その次第は、次のとおりである。

- 次第
- 1 開会あいさつ
 - 2 議事
 - (1) 大垣市地球温暖化対策実行計画【区域施策編】（案）について
 - 3 その他

本日の委員の出欠席は、次のとおりである。

出席委員 永瀬 久光 委員、小林 信介 委員、横井 香織 委員、
長屋 英人 委員、野村 昭子 委員、服部 淑子 委員、
大洞 とく枝 委員、名和 哲彦 委員、金森 道郎 委員、
成瀬 重雄 委員、若野 明 委員、辻本 與吉 委員、
青木 保樹 委員

欠席委員 なし

本日の会議出席者は、次のとおりである。

生活環境部長 馬淵 尚樹、環境衛生課長 高木 昭胤、
環境衛生課新エネルギー政策対策官 青井 明彦、環境衛生課主幹 坂尾 勝彦、
(株)総合環境計画 2 名（オブザーバー）

本日の書記は次のとおりである。

環境衛生課主査 村田 康明

(開会時刻 午前 13 時 30 分)

事務局（生活環境部長）	<p>ただ今から、平成 28 年度 第 3 回 大垣市環境審議会を開催させていただきます。本日、司会を務めさせていただきます、大垣市生活環境部長の馬淵でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、開催に先立ちまして永瀬会長から、ご挨拶をいただきたいと存じます。</p>
永瀬会長	<p>【会長あいさつ】</p>
事務局（生活環境部長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、本日の審議会成立のご報告をさせていただきます。</p> <p>本日は、大洞委員が遅れてみえますが、出席委員が過半数に達しておりますので、大垣市環境審議会規則 第 3 条 第 2 項の規程により、本審議会が成立していることをご報告いたします。</p> <p>それでは、これより議事に移りたい存じます。審議会規則第 3 条の規程により、会議の議長は、会長が務めることとなっておりますので、議事の進行につきましては、永瀬会長にお願いいたします。</p>
議長（永瀬会長）	<p>それでは、これより議長を務めさせていただきます。</p> <p>議事進行がスムーズにいきますよう、ご協力をお願いいたします。</p> <p>本日の会議の傍聴希望者はありません。</p> <p>次に、本日の会議録署名者についてですが、服部委員と青木委員に、お願いしたいと存じます。</p> <p>それでは、議事に入ります。</p> <p>議題 1 「大垣市地球温暖化対策実行計画【区域施策編】（案）について」事務局より、説明願います。</p>
事務局（青井対策官）	<p>事務局を担当しております環境衛生課対策官の青井でございます。座って説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>【議題 1 の説明】</p>
議長（永瀬会長）	<p>ただ今説明のありました議題 1 の内容について、ご意見、ご質問等は、ございませんか。</p>
小林委員	<p>47 ページに「取組による削減見込み量一覧表」があるが、この表のとおり CO2 を削減に取り組むことで、30%削減されるということでしょうか。</p>
事務局	<p>平成 42（2030）年度までに 30%削減を目標としています。</p>

小林委員	平成 62 (2050) 年度までに 80%の削減についてはどうなっていますか。
事務局	国についても、80%まで削減としておりますが、具体的な施策があるわけではありません。国に合わせて表記をさせていただいている。
小林委員	国の施策は、原子力を含めていますので、大垣市として 30%削減するためには、たいへんな努力が必要ではないかと思っている。平成 42 (2030) 年度以降については、国の施策に沿って追従していくということでしょうか。
事務局	本市の計画も 5 年ごとに見直す予定であります。その際に国の計画等に併せて見直しを実施します。
小林委員	パブリック・コメントについて、市の考え方の部分について、もう少し具体的に回答されても良いのではと思います。
辻本委員	計画をもう少し簡単にできないかと思います。例えば 24~25 ページはなかなか判らないと思う。一般市民の目線で端折るとこは端折っていただいても良かったのでは。
事務局	24~25 ページは専門的すぎるところもあり掲載を迷ったが、根拠を示すために掲載をさせていただいた。
辻本委員	一般家庭から出るごみは、大垣市の処分場で処理ができているのか。
事務局	有害ごみの中で、リサイクルや適正処理のため市外に出しているものもある。
辻本委員	燃えるごみについては、全て処理できているのか。
事務局	燃えるごみの焼却施設としては、クリーンセンターと他市町との組合で組織されている西濃環境整備組合があり、大垣市では北部の地域については、西濃環境整備組合で処理するという事になっています。 ごみの量が多かった時に、市内の施設では全てのごみを処理しきれないということで、組合に参加し両方の施設でごみの処理をしてきた。 現在では、ごみの量が減ってきており、クリーンセンターで処理できる量ではあるが、西濃環境整備組合の施設は他市町と費用分担して、建設・運営をしているため、大垣市が勝手に撤退するということができない。 また、クリーンセンターが災害などで使えなくなった場合のリスク分散としての意義もある。

辻本委員	西濃環境整備組合の構成市町は。
事務局	大垣市、瑞穂市、本巣市、神戸町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町、北方町です。
議長（永瀬会長）	短期目標まで、あと3年程度しかありませんが、温室効果ガスは現時点で順調に削減している状況でしょうか。
事務局	詳細な算出をしておりますが、削減は進んでいると感じています。
議長（永瀬会長）	短期目標の平成32（2020）年度は、オリンピックイヤーのため、経済成長が見込まれると思うが、そのような経済状況は反映されているのか。
オブザーバー （総合環境計画）	将来推計をする際に、経済の伸び率を織り込んで、目標設定をしております。
小林委員	先ほどの削減の話ですが、長期目標の80%削減だけでなく、中期目標の30%削減も難しいと思っています。個人的な意見ですが、大垣市の計画は役割分担や削減内容など決まっているので、モデルとして有効な可能性があると思いますので、周りの地方や都市などの自治体に計画策定の教育支援するようなプロセスがあると良いと思います。
大洞委員	燃えるごみが少なくなっていることは、ごみの減量のため活動している者としては、たいへんうれしく思っています。3月1日付けの広報といっしょに雑がみ回収のチラシが配布された。PTAの資源回収の対象として雑がみを加えていただけないでしょうか。
長屋委員	当小学校である綾里小学校では、資源回収の対象として雑がみも分けて回収をしています。
議長（永瀬会長）	その他、何かご意見等があればご発言ください。
	【意見なし】
議長（永瀬会長）	ほかにご意見もないようですので、議題1については、審議の上、承認をされたこととします。これもちまして、本日の審議会に付議されました審議は、すべて終了いたしました。 以上で議長の職を終わらせていただき、事務局にお返しします。ご協力ありがとうございました。

事務局（生活環境部長）

永瀬会長におかれましては、議事進行についてありがとうございました。続いて、その他でございますが、何かご意見等があれば、ご発言ください。

野村委員

地球温暖化計画に関係あるか判りませんが、電子機器の回収について市の対応はどうなっているかお聞きしたい。携帯電話などの電子機器のレアメタルを業者が持っていってしまうのは、もったいないと感じる。

もう一つ、生活学校に関する事です。生活学校は、東京オリンピックが終わった後、女性の生活者の視点から活力ある豊かな地域社会を築くことを目的に発足された組織で、大垣市の生活学校は来年度で設立 50 年となります。

今回、皆さまに団体として何を活動しているか知っていただきたく、「生活学校だより」を配布させていただきました。よろしく申し上げます。

事務局

電子機器の回収について大垣市の現況をご報告させていただきます。

すでに、国の方からレアメタルの回収は有意義なものであるということで、小型家電リサイクル法により各市町村が取り組んでいます。

先ほど言われた携帯電話などにつきましては、大垣市では、燃えないごみとして回収した後、西南濃粗大廃棄物処理センターにおいて破碎し、燃えるごみ・燃えないごみ・鉄・アルミニウムの4つに分けて、リサイクルを推進しております。

しかし、これではレアメタルの回収まではできませんので、市としてどのように対応をしているかという点、携帯電話については、店頭回収という受け皿がありますので、携帯電話の販売店がリサイクルを推進しています。

その他、様々な電子機器については、クリーンセンターの方へ持ち込んでいただければ、無償でお預かりさせていただいて、リサイクル業者に引き渡しをしております。

持ち込み場所を増設する検討をしたが、保管状態など管理面で難しいため、現状ではクリーンセンターのみ持ち込みで対応しております。

また、燃えないごみの収集時には、電子機器を選定しクリーンセンターへ持っていくなど対応している。

電子機器だけを分別すると良いのだが、新たな分別するための費用や取引先などの課題があるため現状では難しい。

国でも推進しているが、回収量が目標値まで達しないため、検討を進めているところである。

青木委員

要望ですが、地球温暖化対策を推進していく中で、環境部局だけでなく、教育委員会や経済部局の職員が市民や事業者の方へ説明するなど、つなぎとなる人材を研修等で育成してほしい。

事務局	庁内には、環境保全を連携する組織がありますので、そういったところを利用して進めて行きたい。
小林委員	ごみの話が出たのでお伺いしたい。戻って申し訳ないが、33 ページの表 4-3-1 にプラスチックリサイクルの推進等とあるが、これは、どういった理由からプラスチックのリサイクルが温室効果ガスの削減につながるのかお伺いしたい。
オブザーバー (総合環境計画)	プラスチックなどの化石燃料で製造されたものを燃やすと、温室効果ガスが排出されますので、燃やされるプラスチックを減らすことが重要ということで記載している。
事務局	大垣市では、平成 24 年度からプラスチック製容器包装のうち、ボトル、カップ、トレー、パック類について、分別収集を始めております。 これは、マテリアルリサイクルにより主に工事杭や運搬用のパレット等に再生されています。 ここでいうリサイクルの推進は、ボトルやカップなどですが、もっと範囲を広げる取り組みが有効だと考えております。
小林委員	リサイクルを推進することで、化石燃料を減らして行くということで、よろしいでしょうか。
事務局	その通りです。
金森委員	それは、費用が必要でもやって行くということですか。
事務局	プラスチック製容器包装については、当初 10 万円ぐらいかかっていたものが、ケミカルリサイクルで 4 万 5 千円、マテリアルリサイクルで 7 万円ぐらいまで落ちてきておりますので、技術革新があれば、さらに費用も低くなると考えられます。 また費用については、プラスチック製器を作っている会社と利用している会社が負担をしていますので、本市としては分別収集を実施していくということになります。これは、リサイクルの推進ということで国の考えであり、本市の考えでもあります。
金森委員	企業側から言うと、廃プラを有価で引き取ってもらえるか産廃になるかは、中国の経済情勢に左右されている状況で、廃棄物になっている傾向である。

事務局

リサイクル資源の価値については、市で収集しているのも同じ状況である。

事務局（生活環境部長）

その他ご意見はありますか。

【意見なし】

事務局（生活環境部長）

長時間にわたり、ご審議をいただき、ありがとうございました。
これを持ちまして、第3回 大垣市環境審議会を閉会させていただきます。ありがとうございました。

(閉会 14時30分)